

2. 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書(シラバス)

授業科目	看護学概論			担当教員	鳴尾 悦子
授業形態	講義・文献学習 演習	単位・時間数	1単位 30時間	配当年次	1年次 前期
(概要・目標)					
<p>看護の基本概念である「人間」「健康」「環境」「看護」の関係について学ぶ。</p> <p>看護実践の基礎となる看護の本質、看護の役割と機能、看護の方法論について学ぶ。</p> <p>看護の歴史的変遷と実態に基づきこれからの看護について考える。</p> <p>科学的理論に基づいた看護実践と各自の看護観、職業アイデンティティを構築する基礎を養う。</p>					
授業内容					
回数	授業項目				授業形態
1回	看護とは				講義
2回	・看護の専門性、看護の本質、看護の役割と機能				
3回	看護理論				講義
4回	・看護の主要概念（人間・健康・環境・看護）、看護理論家と概念モデル				
5回	看護の対象				講義
6回					
7回	健康と病気				講義
8回					
9回	看護の変遷				講義
10回					
11回	看護における倫理				講義
12回	・看護者の倫理綱領、患者の権利章典				
13回	保健・医療・福祉システム				講義
14回					
15回	まとめ				講義
16回	筆記試験				
評価	<p>筆記試験、レポート</p> <p>「看護覚え書き」「看護の基本となるもの」を読んでレポートを書く。</p>				
教科書	<p>系統別看護学講座 基礎看護学[1] 看護学概論 医学書院</p> <p>F・ナイチンゲール著 湯楨マス他訳 看護覚え書き 現代社</p> <p>ヘンダーソン著 看護の基本となるもの 日本看護協会出版会</p> <p>やさしい看護者の倫理綱領 照林社</p>				
推薦参考図書	<p>やさしい看護理論 メディカ出版</p> <p>看護学生のためのレポート・論文の書き方 金芳堂</p>				
その他					

授業科目	基礎看護技術 I			担当 教員	鳴尾・座間 伊藤・寺崎
授業形態	講義	単 位 時間数	1 単 位 30 時間	配 当 年 次	1 年次 前期
(概要・目標)					
援助的人間関係の成立とその発展に必要な理論を理解する。看護におけるコミュニケーションの技術を習得する。看護技術の考え方、看護実践に必要な技術、人間の健康と生活を整える看護に共通する基本技術を学ぶ。					
授業内容					
回数	授業項目				授業形態
1 回	看護における技術とは何か ・工学技術と看護技術、看護の概念と看護技術の特徴、生活を支える援助技術、看護技術の種類				講義 (鳴尾)
2 回	看護技術における基本的概念【安全・安楽・自立】① ・安全：安全に影響を及ぼす要因、安全管理、事故防止のための看護技術、医療過誤、医療事故				講義 (鳴尾)
3 回	看護技術における基本的概念【安全・安楽・自立】② ・安楽：看護における安楽 ・自立：自立への過程、自己決定に基づく選択・決定、リハビリテーション看護				講義 (鳴尾)
4 回	援助的人間関係の形成の技術① ・人間関係とコミュニケーション、医療の場におけるコミュニケーションの目的と意義、関係構築のためのコミュニケーションの基本				講義 演習 (座間)
5 回	援助的人間関係の形成の技術② ・聴き方の技法、話し方の技法、言語以外のコミュニケーション				講義 演習 (座間)
6 回	援助的人間関係の形成の技術③④				講義 演習 (座間)
7 回	・コミュニケーション技術の展開、ロールプレイング、プロセスレコード作成・評価				
8 回	看護過程① ・批判的思考、科学的思考を基にした看護の展開技術、問題解決思考方法としての看護過程				講義 演習 (伊藤)
9 回	看護過程②③④				講義 演習 (伊藤)
10 回	・看護過程の構成要素、看護過程の各段階、看護記録、看護過程の展開				
11 回					
12 回	看護技術適用の基礎知識【ボディメカニクスと人間工学】 ・ボディメカニクス：安全かつ効率のよい看護作業				講義 (寺崎)
13 回	看護技術適用の基礎知識【活動・休息・睡眠】 ・活動・休息・睡眠：日常生活における活動・休息・睡眠の基礎知識やアセスメントと援助方法				講義 (寺崎)
14 回	看護技術適用の基礎知識【教育、指導的関わりの技術】 ・看護における教育・指導とは。グループワーク				講義(寺崎) GW
15 回	(喫煙事例) ディベート				講義 (寺崎)
16 回	筆記試験				
評価	筆記試験	レポート			
教科書	系統看護学講座 基礎看護技術 I 基礎看護技術 II 医学書院				
推薦参考図書					
その他					

授業科目	基礎看護技術 II			担当教員	岡田 裕子
授業形態	講義 技術演習	単位 時間数	1単位 30時間	配当年次	1年次 前期
(概要・目標)					
対象者の健康状態をアセスメントするための基礎的な技術を習得する。また、収集した情報からのアセスメント方法を学ぶ。					
対象者の健康状態を身体・精神・社会的な状態から総合的にアセスメントをすることの重要性について学ぶ。					
授業内容					
回数	授業項目			授業形態	
1回	ヘルスアセスメントとは 身体各部の測定 ①身体計測の目的と意義、方法 ②測定値のアセスメント			講義	
2回	バイタルサインとは(1) ①バイタルサインの意義：呼吸、体温、脈拍、意識 ②バイタルサインの測定方法 ③バイタルサインの観察とアセスメント			講義	
3回	バイタルサインとは(2) ①バイタルサインの意義：血圧 ②バイタルサインの測定方法 ③バイタルサインの観察とアセスメント			講義	
4回 5回	バイタルサイン測定 ・体温、脈拍、呼吸、血圧			技術演習	
6回	フィジカルアセスメントとは ・フィジカルアセスメントの種類と技術 (視診・触診・聴診・打診)			講義	
7回 8回	系統別フィジカルアセスメント ・消化器系フィジカルアセスメント			講義	
9回 10回	系統別フィジカルアセスメント ・呼吸器系フィジカルアセスメント			講義	
11回 12回	系統別フィジカルアセスメント ・循環器系フィジカルアセスメント			講義	
13回 14回	系統別フィジカルアセスメント ・消化器系、循環器系、呼吸器系の視診・触診・聴診・打診			技術演習	
15回	系統別フィジカルアセスメント ・中枢神経系、感覚器系、運動器系フィジカルアセスメント			講義	
16回	筆記試験 技術試験				
評価	筆記試験、レポート、技術試験				
教科書	系統看護学講座 基礎看護技術 I		医学書院		
	フィジカルアセスメントガイドブック		医学書院		
	看護技術プラクティス		学研		
推薦参考図書					
その他					

授業科目	基礎看護技術Ⅲ		担当教員	森下 恵美 (10) 寺崎 真美 (10) 木下 学 (10)	
授業形態	講義 技術演習	単位・時間数	1 単位・30 時間	配当年次	1 年次 前期

(概要・目標)

健康の保持・増進にとっての環境の意義を理解し、対象者の安全・安楽を確保するための援助技術を習得する。

授業内容

回数	授業項目	授業形態
1 回	環境調整技術 ①環境の意味 ③室内気候 ②環境の条件 ④寝具に求められる条件	講義 (森下)
2 回	病床環境調整 ①プライバシーの調整 ②病床環境の調整に関するアセスメント	講義 (森下)
3 回	ベッドメイキングの方法と実施	講義(DVD) デモンストレーション (森下)
4 回 5 回	ベッドメイキング	技術演習 (森下)
6 回	基本的活動の基礎知識 ①よい姿勢 ④体位 ②脊椎の生理的彎曲 ⑤基本的体位と特殊体位 ③姿勢 ⑥体位変換	講義 (寺崎)
7 回	同一体位の有害性と体位が身体に及ぼす影響 ①同一体位の有害性 ③体位の身体に及ぼす影響 ②廃用症候群	講義 (寺崎)
8 回 9 回	体位変換、移動	技術演習 (寺崎)
10 回 11 回 12 回 13 回 14 回	感染防止の基礎知識 ①感染成立の条件 ②院内感染の防止 ③標準予防策(スタンダード・プリコーション) 感染防止の基礎知識 ①感染経路別予防策 ②洗浄・消毒・滅菌 無菌操作と感染予防に関するアセスメント ①無菌操作の基礎知識 ③感染性廃棄物の取り扱い ②対策の実際 ④感染予防に関するアセスメント ①衛生的な手洗い ③滅菌物の取り扱い ②防護用具の使用法 ④感染性廃棄物の取り扱い ⑤創傷処置のための無菌操作	講義 (DVD) デモンストレーション (木下)
15 回	包帯法	技術演習 (寺崎)
16 回	筆記試験	

評価 課題 ポストテスト 筆記試験

教科書 系統看護学講座 基礎看護技術Ⅱ 医学書院
看護技術プラクティス 学研

推薦参考図書

その他 看護技術演習では技術チェックを行う。

授業科目	基礎看護技術Ⅳ			担当教員	伊藤 美栄
授業形態	講義 演習	単 位 時間数	1 単位 30 時間	配当 年次	1 年次 後期
(概要・目標)					
対象者の看護上の問題を解決していく過程である看護過程の基礎を理解する。看護技術が看護過程を通して、複合して実施されることを理解する。					
事例展開をもとに看護過程について学ぶ。					
授業内容					
回数	授業項目				授業形態
1 回	看護過程 ・紙上事例の説明、演習の進め方、アセスメント（情報収集）				講義
2 回	看護過程 ・アセスメント（情報収集、情報の整理、情報の分析）				講義
3 回	看護過程 ・アセスメント（情報の整理、情報の分析、情報の統合、全体像）				講義
4 回	看護過程 ・グループワーク 事例設定 看護上の問題の抽出、明確化				講義
5 回					演習
6 回					
7 回	看護過程 ・グループワーク 看護計画の立案				講義 演習
8 回	基礎看護学実習Ⅰ後期で受け持った患者で全体像作成① ・個人ワーク アセスメントに必要な情報の整理				講義
9 回					演習
10 回					
11 回	基礎看護学実習Ⅰ後期で受け持った患者で全体像作成② ・個人ワーク 看護上の問題点の抽出、明確化				講義
12 回					演習
13 回	基礎看護学実習Ⅰ後期で受け持った患者で全体像作成③ ・個人ワーク 全体像の把握				講義 演習
14 回	基礎看護学実習Ⅰ後期で受け持った患者で全体像作成④ ・個人ワーク 全体像作成				演習
15 回	基礎看護学実習Ⅰ後期で受け持った患者で・看護計画の立案 ・個人ワーク まとめ				演習 講義
16 回	筆記試験				
評価	看護過程（受け持ち患者記録 1～5）				
教科書	系統看護学講座 基礎看護技術Ⅰ 医学書院				
推薦参考図書	看護過程実習記録指針				
その他					

授業科目	基礎看護技術Ⅴ			担当教員	濱田 智江
授業形態	講義 技術演習	単位 時間数	1単位 30時間	配当年次	1年次 後期
(概要・目標)					
人間にとって食べること、排泄することについて整理・理解する。 それぞれの行為で援助が必要な状況を考え、援助する技術を習得する。					
授業内容					
回数	授業項目			授業形態	
1	人間が食べるということは、どういうことか1			講義	
2・3	食事を介助する1 (嚥下テスト、食事介助)			講義・技術演習	
4・5	食事を介助する2 (経管栄養法・中心静脈栄養法)			講義	
6	人間にとって食べるとは、どういうことか2			講義	
7	トイレに行けない (床上排泄・ポータブルトイレ)			講義・技術演習	
8・9	出ない・出せない1 (導尿、留置カテーテル)			講義・技術演習	
10・11	出ない・出せない2 (浣腸)			講義・技術演習	
12	人間にとって排泄するとは、どういうことか1			講義	
13	人間にとって排泄とは、どういうことか2			講義	
14・15	アンコール演習			技術確認	
16	筆記試験				
評価 筆記試験					
教科書	系統看護学講座 基礎看護技術Ⅱ 医学書院 看護技術プラクティス 学研				
推薦参考図書					
その他	アンコール演習では、今までに実施した演習の中より学生が希望する演習を再度行う。				

授業科目	基礎看護技術Ⅵ			担当教員	谷 かず
授業形態	講義 技術演習	単位 時間数	1 単位 30 時間	配当年次	1 年次 後期
(概要・目標) 身体の清潔と衣生活について学び、それらを整えるための援助技術を習得する。					
授業内容					
回数	授業科目			授業形態	
1 回	オリエンテーション 看護における衣生活、清潔への援助の意義 衣生活の援助、身体の清潔保持のための援助			講義	
2 回	寝衣交換			講義・技術演習	
3 回	寝衣交換			講義・技術演習	
4 回	顔・口腔・整容・整髪			講義・技術演習	
5 回	手浴・足浴・爪ケア			講義・技術演習	
6 回	洗髪			講義・技術演習	
7 回	洗髪			講義・技術演習	
8 回	入浴			講義・技術演習	
9 回	全身清拭・陰部洗浄			講義・技術演習	
10 回	全身清拭・陰部洗浄			講義・技術演習	
11 回	全身清拭・陰部洗浄			講義・技術演習	
12 回	患者のケア計画			技術演習	
13 回	患者のケア計画			技術演習	
14 回	患者のケア計画			技術演習	
15 回	患者のケア計画			技術演習	
評価	筆記試験 提出物				
教科書	系統看護学講座 基礎看護技術Ⅱ 医学書院				
推薦参考図書					
その他	講義では適宜 DVD を使用する。				

授業科目	基礎看護技術Ⅶ			担当教員	岡田 裕子
授業形態	講義 技術演習	単位 時間数	1 単位 30 時間	配当 年次	1 年次 後期
(概要・目標)					
診療を受ける状況を理解し、治療効果が発揮されるよう診療時の基礎的な援助技術を習得する。また、治療・検査を受ける対象者の心理や苦痛を理解し、必要な援助技術を習得する。					
授業内容					
回数	授業項目				授業形態
1 回	診療の補助技術 ①診察時の看護師の役割 ②診察を受ける対象者の理解と対応の技術 ③診察の基礎知識 ④診察に関するアセスメント ⑤診察時の援助の実際				講義
2 回 3 回	呼吸・循環を整えるための援助技術 ①酸素吸入療法 ②吸引（一時的・持続的・気管内） ③排痰ケア ④吸入（ネブライザー） ⑤体温管理の技術 ⑥末梢循環促進ケア				講義
4 回 5 回	酸素ボンベ、中央配管からの酸素吸入 一時的気道内・気管内吸引法 気道内加湿				技術演習
6 回 7 回	与薬の技術 ①薬物療法の基礎知識 ②薬物療法時の援助の実際 ③注射実施時の基礎知識 ④注射実施時の援助の実際				講義
8 回 9 回	直腸内与薬、皮下注射、筋肉内注射、静脈内注射				技術演習
10 回 11 回	静脈血採血 簡易血糖測定				技術演習
12 回 13 回	検査時の援助技術 ①検査の基礎知識 ②検査における看護師の役割 ③検査に関するアセスメント ④検査時の援助方法（生体検査、検体検査）				講義
14 回 15 回	罨法				技術演習
16 回	筆記試験				
評価	筆記試験、レポート				
教科書	系統看護学講座 基礎看護技術Ⅱ 医学書院 看護技術プラクティス 学研				
推薦参考図書					
その他	看護技術演習では技術チェックを行う。				

授業 科目	臨床看護総論 I		担当 教員	森下 恵美 (16) 木下 学 (14)	
授業 形態	講義 演習	単位 時間数	1 単位 30 時間	配当 年次	1 年次 後期
(概要・目標)					
健康状態の経過の特徴と経過に応じた対象者への看護を理解する。					
主要な症状の特徴と基本的治療、症状に応じた看護の基本を理解する。					
授業内容					
回	教育内容			方法	
1	経過別看護とは ・健康状態の経過に基づく看護とは			講義	
2	急性期における看護			講義	
3	慢性期における看護			講義	
4	リハビリテーション期における看護			講義	
5	終末期における看護			講義	
6	症状別看護とは ・コーピングに関連する症状を示す対象者への看護			講義	
7	<PBLチュートリアル教育>			講義・GW	
8	呼吸に関連する症状を示す対象者への看護				
9	循環に関連する症状を示す対象者への看護				
10	活動や休息に関連する症状を示す対象者への看護				
11	栄養に関連する症状を示す対象者への看護				
12	排泄に関連する症状を示す対象者への看護				
13	認知や知覚に関連する症状を示す対象者への看護				
14	安全や生体防御機能に関連する症状を示す対象者への看護			講義	
15	安楽に関連する症状を示す対象者への看護 (安楽を促すケア) 痛みのある対象者への看護			講義	
評 価： 評価方法の詳細は講義開始時ガイダンスで説明する					
教科書：医学書院 系統看護学講座 専門分野 I 臨床看護総論 医学書院 系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護技術 II 学研 看護技術プラクティス 第3版					
推薦参考図書：随時紹介					

授業科目	臨床看護総論Ⅱ		担当教員	岡田 裕子(20) 木下 学 (10)
授業形態	講義 技術演習	単位・時間数	1 単位 30 時間	配当年次 2 年次前期
(概要・目標) 治療・処置を受ける対象者の特性を理解し、治療・処置に応じた看護の基本を理解する。 主要な医療機器の原理と使用の実際に必要な技術を習得する。				
授業内容				
回数	授業科目		授業形態	
1 回	治療・処置を受ける対象者への看護 ①輸液療法の特徴 ②輸液療法中の看護 ③輸血について		講義 (岡田)	
2 回	点滴静脈内注射		技術演習 (岡田)	
3 回	輸液ポンプ・シリンジポンプ		技術演習 (岡田)	
4 回 5 回	輸液中、麻痺・拘縮のある患者の寝衣交換		技術演習 (岡田)	
6 回 7 回 8 回 9 回 10 回	化学療法を受ける対象者への看護 ①化学療法の特徴 ②化学療法を受ける対象者とその家族への看護 集中治療を受ける対象者への看護 ①集中治療とは ②集中治療を受ける対象者とその家族への看護 放射線療法を受ける対象者への看護 ①放射線療法とは ②放射線療法を受ける対象者とその家族への看護		講義 (岡田)	
11 回	創傷処置を受ける対象者への看護 ①創傷の基礎知識 ②創傷の観察・処置と看護 ③熱傷について		講義 (木下)	
12 回 13 回	身体侵襲を伴う検査・治療を受ける対象者への看護 ①身体侵襲を伴う検査・治療とは ②身体侵襲を伴う検査・治療時の看護		講義 (木下)	
14 回 15 回	医療用機器(ME 機器)と看護 ①ME 機器使用時の基礎知識 ②測定用 ME 機器 ③治療用 ME 機器 ④ME 機器使用時の看護		講義 (木下)	
16 回	筆記試験			
評価	筆記試験			
教科書	系統看護学講座 臨床看護総論 医学書院 写真でわかる基礎看護技術 基本的な看護技術を中心に インターメディカ 看護技術プラクティス 学研			
推薦参考図書				
その他	看護技術演習では技術チェックを行う。			